



一般社団法人 全国病児保育協議会ホームページ <http://www.byoujihoku.net/>

第92号

2018年(平成30年)4月10日

[発行人] 会長 大川 洋二
(大川こども&内科クリニック)

[発行] 一般社団法人 全国病児保育協議会事務局
〒160-8306
東京都新宿区西新宿5-25-11-2F 僕日本小児医事出版社内
FAX.03-5388-5193

東洋のエーゲ海を渡り、香川(高松)へ

第28回全国病児保育研究大会 in かがわ 実行委員長

へいわこどもクリニック 病児保育はとぼっぽ

第28回全国病児保育研究大会を香川(高松)で開催します。

世界中から訪れる人々に「世界一美しい」と絶賛される瀬戸内海。無数の島々が織りなす美しい景観は『東洋のエーゲ海』と言われています。この環境を背景に、瀬戸内国際芸術祭が数年毎に開催され、世界的な芸術祭として注目されるほどです。

特に、総会が開催される7月は、大会会場から、キラキラ輝く瀬戸内の海と島々を一望でき、海から届くさわやかな風を感じることができる最高の季節です。

今回のテーマ、「病児保育はいつもそこに在る」～つなごう 子ども・子育て支援の輪～です。

大会の基調として「病児保育と子育て支援」「病児保育の現状と未来」、二つのシンポジウムを企画しました。

熊本、新潟、そして大阪と続いた研究大会において多角的に討論され、歴代の病児保育協議会の会長を中心に整理されてきた病児保育論を、さらに深く掘り下げたいと思います。

シンポジストは日本の病児保育を牽引してきた方々です。ここで語られる病児保育論が、これから病児保育を発展させる方向を示すことになるのではないか。また本大会の西岡会頭が、香川の地で切り開いてきた、病児保育でのレスパイトや子育支援、連携が、より深まるシンポジウムにもなるでしょう。そして、病児保育で働く職員にとっても、確信や誇りにつながることを願っています。

参加者のスキルアップ企画も充実させました。

委員会主催プログラムでの学びを基本に、近年、要望の多い、食物アレルギー、発達障害、虐待、気になるこどもなどのワークショップもしっかりと準備できました。アトピー性皮膚炎、赤ちゃん学、スマフォとこども、こどもの心、など関心の多いテーマでの特別講演と教育講演、実践セミナーで取りそろえました。期待してください。今回も大いに学べ、成果を持ち帰ることができる大会です。

中田 耕次

また、昼食をとりながらスタッフ同士の情報交換ができる交流会を実施いたします。日常的な小さな相談、悩みなど話し合いましょう。

前大会は大都市大阪でした。今回は一転して、地方都市となり、参加者数がどれだけになるか不安でした。しかしながら、登録状況は、大阪大会に近づいています。

年々増加する全国各地での病児保育の勢いの反映でもあるのでしょうか。そのエネルギーをそのまま大会の成功につなげていきたいです。

懇親会は、大会会場に隣接するホテルで開催します。出席者のみなさんが瀬戸内海からの夜風を感じながら、こころが一つになるコンサートを用意しました。当地のグルメももちろん万全です。飲み過ぎた方は、翌朝のジョギング＆ウォーク企画に参加し、スッキリさせてください。

さて、高松といえば、さぬきうどんで有名です。ここでは紹介しませんので、「麺通団」でネット検索してください。しかしそれ以外も食べ物は豊富です。

瀬戸内海は天然の生簀(いけす)と呼ばれるほど水産物が豊富です。

春のサワラ、夏のマナガツオ、秋のチヌ、冬のハマチ、カキと一年を通して新鮮な魚貝料理が楽しめます。

鳥の骨付きもも肉を1本まるごとオープン釜などでふつくりと焼き上げたご当地グルメで新たな香川のソウルフードとして注目を浴びています。

日本のオリーブ発祥の地・小豆島(二十四の瞳の映画村があります)には、オリーブを使ったヘルシーで美味しいグルメがたくさんです。年間300万人が訪れる金比羅宮、文化財庭園では広さ日本一の栗林公園、アートの島・直島の草間彌生の作品「赤かぼちゃ」、源平合戦の屋島など観光地もたくさんあります。

かがわを楽しんでください!待っています。



平成29年度 全国病児保育協議会三重県ブロック研修会報告

三重県支部では、昨年に続いて研修会幹事を医療法人童心会よいこ病児保育室が担当しました。昨年は地元近くの鳥羽市商工会議所会館で開催しましたが、今年からは三重県内のどこからでも集まりやすく、県外からの参加者にも利便性の良い津市の三重県総合文化センターに於いて10月22日（日曜日）の午前9時半からの開催としました。

当日は台風の接近により開催自体も危ぶまれましたが、何とか開催することができました。しかし、午前の特別講演中に緊急アラートが携帯から鳴り響き、聴講者全員で驚いたほどでした。その後の天候もあり、結局は午前の部で終了とさせて頂きました。

内容は、支部長の多湖先生のご挨拶、三重県健康福祉部子ども・家庭局の刀根様からご挨拶を頂いた後で、協議会報告を常任理事であります私羽根より報告させて頂きました。

その後、特別講演として、第一部は玉川大学教育学部教授で協議会理事でもいらっしゃいます宮崎豊先生のご講演。次に第二部は愛知県立大学看護学部教授の清水宣明先生のご講演がありました。また、並行して11時からは別室で施設長会議を県の担当者の刀根様にもご参加頂き開催しました。

参加施設は台風にもかかわらず、県外からも5施設、



三重県内では協議会未加盟施設を含む10施設の計15施設54名のご参加を頂きました。

研修会は、天候上の都合で午前中のみとなりましたが、内容は病児保育専門士の更新にふさわしく、また、専門士以外でもとても勉強になるものでした。施設長会議では県の担当官がご参加頂いたので、とても有意義でした。支部での研修会は、専門士の資格更新はもとより行政の方とも話し合う絶好の機会に出来ますので、各地でも熱心に開催されますことを祈念申し上げます。

来年は、幹事が私共から熱田小児科津ディケアひまわりさんに交替しますので、よろしくお願い申し上げます。

全国病児保育協議会三重県支部長 羽根 靖之
医療法人 童心会 よいこ病児保育室施設長

第11回 全国病児保育協議会鹿児島支部総会報告

2017年11月12日（日）全国病児保育協議会鹿児島県支部第11回総会担当者交流会を、鹿児島県文化センターにて開催しました。鹿児島県内21か所の病児保育施設から医師・保育士・看護師・行政73名が集い、事業内容を協議しました。昨年10周年を迎えたことを関係各位に感謝いたします。

また、研修委員長の帆足暁子先生に「保護者理解・病児理解」というテーマでご講演いただきました。現代の育児状況を理解し、子どもが病気の時は「生きる力」が崩れやすいときと認識し、親を親として支えること、子どもを十分に受け止め甘えさせることが大切なことでした。「私」をすきになれるよう自分で自分を育てていく覚悟をもって、今後も病児保育に取り組んでいきたいと思います。心理学も盛り込まれた非常に濃い内容で、会員から感銘を受けたとの声をたくさんいただきました。



担当者交流会では、インターネット予約や利用時間延長についての情報交換、また、6人ずつのグループに分かれて、日頃の悩みに同じだとうなづいたり、うちではこうしてますよなどなど話が盛り上がりました。また明日からがんばろうと心を新たにした1日になりました。

全国病児保育協議会 鹿児島県支部長 池田 琢哉
池田病院 チックタック童夢館

かがわ大会 主要プログラム (2018年3月時点 予定)

第28回 全国病児保育研究大会 in かがわ ホームページより抜粋 <http://web.apollon.nta.co.jp/hoiku2018/index.html>

【大会主催プログラム】

☆会頭講演 7月15日(日) 10:00~10:20

病児保育はいつもそこにある～つなごう 子ども・子育て支援の輪～

座長：大川 洋二

(全国病児保育協議会会長／大川こども＆内科クリニック うさぎのママ)

講師：西岡 敦子

(仁泉会 西岡医院病児保育室 レインボーキッズ)

☆シンポジウム1 7月15日(日) 10:20~12:00

病児保育と子育て支援

座長：木野 稔

(中野こども病院 アリス病児保育室)

山口 淑子

(山口クリニック キッズケアルーム風船)

シンポジスト：藤本 保

(大分こども病院 キッズケアルーム)

稻見 誠

(いなみ小児科 病児保育室 ハグルーム)

横田俊一郎

(横田小児科医院)

☆シンポジウム2 7月15日(日) 15:30~17:30

病児保育の現状と未来

座長：横田俊一郎

(横田小児科医院)

藤本 保

(大分こども病院 キッズケアルーム)

シンポジスト：自見はなこ

(参議院議員)

吉田 学

(厚生労働省 子ども家庭局 局長)

今村 定臣

(日本医師会 常任理事)

大川 洋二

(全国病児保育協議会 会長／大川こども＆内科クリニック うさぎのママ)

☆特別講演1 7月15日(日) 13:00~14:00

子どもの健やかなこころの育ちを支えるために、私達ができる～適切なコミュニケーションの大切さについて～

座長：西田 智子

(香川大学教育学部)

講師：岡田 倫代

(観音寺第一高等学校定時制 英語教諭)

☆特別講演2 7月15日(日) 14:10~15:10

ひとりひとりがみんないせつ～子どもの心に気づくとき～

座長：葛原 誠人

(陶病院 病児保育室うぐいす)

講師：くすのき しげのり

(児童文学作家)

☆特別講演3 7月16日(月・祝) 13:00~14:00

スマホ時代の子育てを考える～小児科医と考えるスマホリテラシー～

座長：山本真由美

(小豆島中央病院 小児科)

講師：佐藤 和夫

(九州医療センター 小児科)

☆特別講演4 7月16日(月・祝) 14:10~15:10

赤ちゃんに学ぶ、育つチカラ～子どもの発達と生活リズム～

座長：磯部 健一

(高松大学発達科学部)

講師：小西 行郎

(同志社大学あかちゃん学研究センター)

☆教育講演1 7月15日(日) 14:10~15:10

保育士・看護師のための論文の書き方

座長：宮崎 雅仁

(小児科内科三好医院)

講師：黒木 春郎

(外房こどもクリニック)

☆教育講演2 7月15日(日) 16:30~17:30

アトピー性皮膚炎の診療において“治療の目標(ゴール)”をご存知ですか？

座長：関口 隆憲

(医療法人社団仁泉会 西岡医院)

講師：渡辺 俊之

(医療法人社団仁泉会 介護老人保健施設“渡の里”)

☆教育講演3 7月16日(月・祝) 9:30~10:30

気付けますか？親子からのSOS～虐待予防の視点から～

座長：田山 正伸

(田山チャイルドクリニック)

講師：木下あゆみ

(四国こどもとおとなの医療センター)

☆教育講演4 7月16日(月・祝) 10:40~11:40

食が変われば心も体も変わる

座長：柴崎 三郎

(讀陽堂松原病院)

講師：則久 郁代

(オフィスIKUYO)

☆サポート・セミナー 7月16日(月・祝) 11:50~12:50 ※昼食持込可

病児保育に役立つ発達障害のお話：脳科学を活かした対応について

座長：永井 崇雄

(永井小児科医院)

講師：宮崎 雅仁

(小児科内科三好医院)

☆なんでも相談会 7月16日(月・祝) 11:50~12:50 ※昼食持込可

施設長およびスタッフを対象に、なんでも相談会を実施いたします。詳細は随時こちらのページにて更新いたします。

☆ワークショップ1～9 7月15日(日)・16日(月・祝)

(定員を満たしている場合がございます。ホームページでご確認下さい。)

☆スペシャルインタレストセッション 7月15日(日) 15:20~17:20

※要事前予約

病児保育専門士だから見えること～事例を通して考察しよう～

リーダー：永野 和子

(みるく病児保育センター 病児保育専門士資格認定委員長)

【委員会主催プログラム】

☆研修委員会主催セミナー ※どなたでも参加できます

[基礎研修(保育)] 7月15日(日) 10:00~11:00

心と心をつなぐ保育

[基礎研修(看護)] 7月15日(日) 11:00~12:00

～病児・病後児保育における看護知識～

[基礎研修(保育看護)] 7月15日(日) 13:00~14:00

日々の保育看護を振り返る

[基礎研修(小児医学)] 7月15日(日) 14:00~15:00

基礎小児医学

[ステップアップ研修] 7月16日(月・祝) 9:30~10:30

子育てを孤育てにしない！－保護者理解を深めてみたら－

☆感染症対策委員会主催セミナー 7月16日(月・祝) 9:30~11:30

※どなたでも参加できます

委員会講演：厚生労働省「保育所における感染症対策ガイドライン」を読む

特別講演：勤務医の日常診療から病児保育における感染予防を考える

☆調査研究・インシデント委員会主催セミナー 7月16日(月・祝) 9:30~11:30

※どなたでも参加できます

病児保育の事故防止の重要性と今後の協議会の事故防止のあり方を考える

子どもの事故～今日から我々にできることは？

mimsを使って危険予知トレーニング(KYT)をしてみませんか？

☆保育園型PT主催セミナー 7月16日(月・祝) 9:30~11:30

※どなたでも参加できます

(同封の保育園型ニュースレターをご覧ください)

◆ 第28回 全国病児保育研究大会 in かがわ 広報の部屋 ◆

テーマ「うちのイチバン!病児保育インスタ映え」 「うちのイチバン!病児保育インスタ映え」を大募集!!

かがわ大会会場広報の部屋において、みんなで病児保育にしかできない保育、工夫していることをもちより、明日からの保育に役立てましょう！

★うちのイチバン！

保育室、遊びの様子、施設長・スタッフの自慢の手作りおもちゃなどインスタ映えする写真を送ってください！

○応募シートに印刷または写真L版（貼らずに同封）

○30字程度までのコメント

子どもたちと過ごすときや家族と接するときに「この光景素敵だな！」施設で「この工夫は、病児保育ならではいいな！」など、コメントもあわせてお送りください。明日から流行になるかもしれませんよ♪

※いずれかひとつ（写真との整合性は問いません）

※手書き可

ニュース92号に同封の応募用紙で送ってください。

【締め切り】6月22日(金)

[送り先]

〒860-0056 熊本市西区新土河原2-8-34
みるく病児保育センター宛

封筒に「広報の部屋」と明記してください。

注：応募用紙、写真は返却しません。
個人情報の保護については各施設で確認をお願いします。

応募作品の中から抽選で商品券をプレゼント！

みなさまからのご応募、お待ちしております！

第28回 全国病児保育研究大会 in かがわ

病児保育はいつもそこにある～つなごう 子ども・子育て支援の輪～

会期 2018年7月15日・16日・祝 会場 かがわ国際会議場、サンポートホール高松

会頭 西岡 敦子（仁泉会 西岡医院病児保育室 レインボーキッズ）

平成28年度実績調査アンケートについて

平成28年度実績調査のアンケートは、平成30年2月17日に締め切りとしました。回収率は67.2%でした。

現在、集計と解析をしており、結果は機関誌「病児保育研究第9号（平成30年7月刊行予定）」掲載いたします。

皆様のご協力に感謝いたします。ありがとうございました。



編集後記

かがわ大会の準備は着々と進んでいるようです。広報委員会は今回も「広報の部屋」で皆様と『うちのイチバン』を語り合いたいと願っています。多くの参加でこの大会をいっしょに盛り上げたいと存じます。高松に集いましょう。（広報委員長 藤本 保）



協議会ニュースに関するお問い合わせ先

一般社団法人 全国病児保育協議会 広報委員会

担当：藤 本 保

〒870-0943 大分市大字片島83-7
大分こども病院

FAX.097-568-2970

E-mail:byouji@oita-kodomo.jp